

## 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	毎年9月30日
	その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
公告方法	電子公告
	<a href="http://www.cmic.co.jp/">http://www.cmic.co.jp/</a>
	ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先 同取次所	電話 0120-288-324 (フリーダイヤル) みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

## 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、下記いずれかの方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。

### ① 添付のアンケートハガキを郵送 (切手不要)

### ② インターネットからアクセス

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 2309

いいかぶ  検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

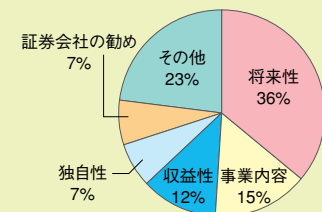
※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

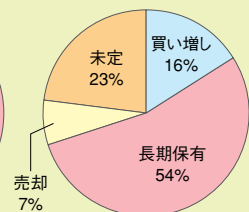
## 株主アンケートのご報告

ハガキにて実施いたしましたアンケート調査において、多くの株主の皆さまより貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。今後も株主の皆さまのご期待に沿えるよう企業努力を続けてまいります。

当社の株式購入理由



当社の株式に対する方針



## シミツク株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-10-4 金剛ビル  
Tel 03-5745-7070 (代) Fax 03-5745-7077  
<http://www.cmic.co.jp/>

Printed with Soy Ink.

# CMIC Report 08

シミツク株式会社 [シミツクレポート]

## 今日、そして明日へ

シミツクは医薬品産業を通じてEBMの確立に貢献し続けます

第24期 中間ビジネスレポート 2007.10.1~2008.3.31

### 特集 業界最大のSMO企業グループへ

サイトサポート・インスティテュート(株)を傘下に加え、生産性の向上を図ることでさらなる成長を目指します。

### contents

- 01 株主の皆さまへ
- 02 社長インタビュー
- 03 シミツクグループの事業領域
- 06 コラム—健康情報—
- 07 財務諸表 (連結・単独)
- 10 会社概要・株式の概況



株主の皆さまには、日頃よりひとかたならぬご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。ご報告いたします。

当中間期においては、製薬企業の経営効率化や新薬の研究開発が活発化していることを背景に、主力のCRO事業を中心に売上が伸び、売上高12,433百万円（前年同期比15.7%増）となりました。また、CRO事業におけるモニタリング業務の人員確保を積極的に進めたため、期中の原価率は若干上昇しましたが、増収の効果により営業利益1,318百万円（前年同期比13.4%増）となりました。中間純利益については、前中間期に発生した子会社吸収合併による税金費用減少の影響がなくなったことにより、520百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

今後は、当期に連結子会社となったサイトサポート・インスティテュート(株)、CMIC-VPS Corporationを合わせシミックグループのシナジー効果を発揮しながら、さらなる成長を目指してまいります。また、顧客層を製薬企業からヘルスケア企業全般に広げることで社会への貢献度を高めていく新しいビジネスモデルの確立を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長／CEO 中村 和男

### 当中間期のイベント

#### ● 米・治験薬製造会社であるVPS社を子会社化

2007年12月、治験薬製造受託業務を担う米VPS社をグループ化し、「CMIC-VPS Corporation」としてスタートしました。これにより新たに固形製剤治験薬の製造受託が可能となりました。

#### ● フロスト&サリバン社のベストプラクティスアワードを受賞

日本におけるCROビジネスの飛躍的な成長に貢献し、業界の主要なプレイヤーのなかでも独特の存在感を発揮している点が評価され、受賞しました。

#### ● シミック・エスエス・CMO(株)が第二種医薬品製造販売業許可取得

「処方せん医薬品以外の医薬品」(OTC薬など)を製造販売できることになり、シミック・エスエス・CMO(株)として自社ブランド製品の製造販売も可能となりました。

#### ● サイトサポート・インスティテュート(株)の子会社化を発表

当社がサイトサポート・インスティテュート(株)を完全子会社とすることについて2007年12月に決議し、株式交換契約を締結しました。

2008年4月、当社とSMO\*（治験施設支援機関）事業を行うサイトサポート・インスティテュート(株)（以下SSI）との株式交換により、SSIは当社の100%子会社となりました。このことにより、シミックグループ傘下でCRC\*（臨床試験コーディネーター）業務を担うシミックCRC(株)と合わせ、業界最大のSMO企業グループとなります。この経営統合について、当社社長の中村が、株主の皆さまの疑問にお答えします。

### Q 今回の経営統合のねらいは何ですか？

昨今、政府による新薬開発の促進・早期上市に向けた施策が相次いで打ち出され、治験の効率化、生産性の向上が推進されています。このような事業環境のもと、シミックグループではSMOとしての基盤の拡充を実現するとともに、CROとSMOの連携強化を図ることで臨床試験（治験）の生産性を上げることが必要であると判断し、統合を決意しました。

### Q 経営統合のメリットを教えてください。

全国の拠点数、CRC数、SMA\*数、売上高において業界最大のSMO企業グループとなります。CROがSMOを含め臨床試験を一元管理する体制を整え業務の効率化を図ることにより、臨床試験の生産性向上に加え、教育・管理部門、管理システムなどを共有することによるコスト削減も期待できます。

### Q シミックグループ連結業績には、いつから加わりますか？

SSIの業績は、2008年4月よりシミックの連結対象となります。SSIの半年分業績を含め、2008年9月期（連結）は売上高27,203百万円（前期比25.8%増）、営業利益2,856百万円（前期比32.3%増）、当期純利益1,375百万円（前期比14.8%増）を見込んでいます。

### Q 今後の方針について聞かせてください。

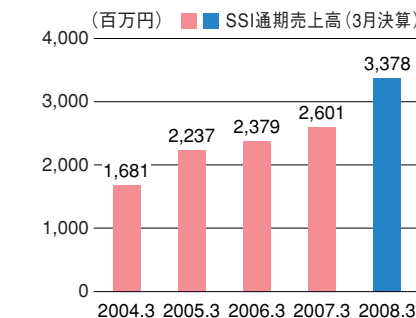
2008年10月、SSIとシミックCRCを合併し、新生SSIが誕生します。両社の人材・臨床試験に関するノウハウを集約し、臨床試験の効率化・生産性の向上を実現し、業界No.1のSMOとしてのスケールメリットを活かして市場競争力のさらなる強化を目指します。

\*SMO：CRC業務や治験事務局業務など、医療機関側の治験に関わる業務を受託・代行。  
\*CRC：医療機関で、被験者のケアや同意書取得補助など治験実施をサポートする専門スタッフ。  
\*SMA：医療機関の治験インフラの整備・運営の支援を行う治験事務局のスタッフ。



### サイトサポート・インスティテュート(株)はどんな会社？

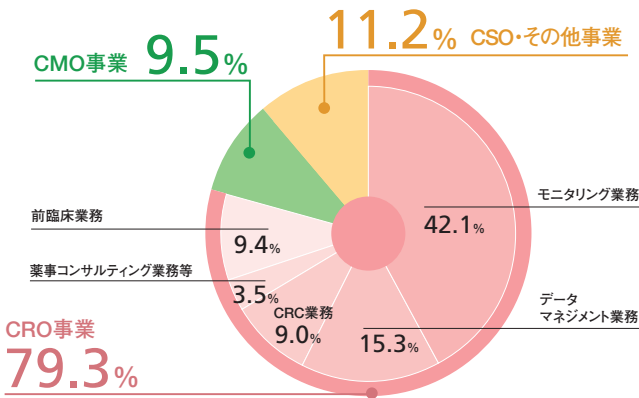
SMO（治験施設支援機関）のリーディングカンパニーとして、本社を含む9オフィスで全国展開しています。また、医療機関との事業連携の強みを活かし、ヘルスケア分野への新規事業の展開を図っています。



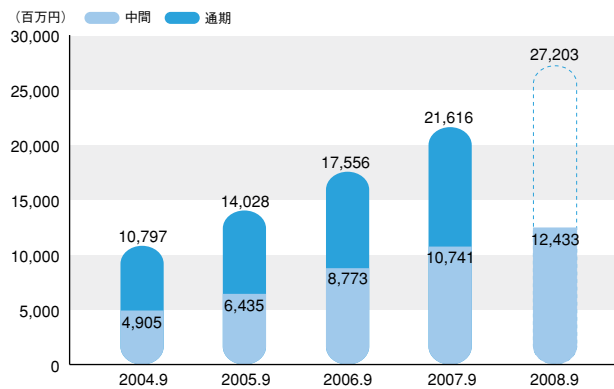
会社概要	
資本金	6億7,300万円
代表者	代表取締役社長 慶野晋一
従業員数	327名(2008年3月末現在)
沿革	
1999年	4月 設立
2000年	3月 SMOとして医療機関と提携開始
2000年	5月 提携クリニックでの治験支援業務を開始
2003年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
2008年	3月 東証マザーズ市場への上場廃止
2008年	4月 シミック(株)の完全子会社へ

シミックグループは、製薬企業の開発、製造、営業・マーケティングといったバリューチェーンを広範に支援することで製薬企業の付加価値向上に貢献する新しい事業モデルPVC（ファーマシューティカル・バリュー・クリエイター）を掲げ、CRO事業を中心に、CMO事業、CSO事業へと事業領域を拡大しています。また、医薬品から医療・ヘルスケアまで分野を広げ、「患者のための医療」に貢献できるビジネスモデルの確立を目指しています。

● 2008年9月期中間 売上高構成比



● 売上高（連結）推移



**CRO**  
Contract Research Organization

### 医薬品開発支援

臨床試験（治験）依頼者である製薬企業などより委託され、主に臨床試験（治験）に関わる専門的な業務を行う事業のことです。臨床試験の期間短縮・コスト削減を図り、「より良い新薬をより早く患者さんのものに届ける」手助けをしています。

**CSO**  
Contract Sales Organization/ Others

### 医療品営業支援・その他

製薬企業などに対し販促資材の企画・制作、MR派遣など、医薬品の営業・マーケティングを支援する事業です。その他、被験者募集業務、ヘルスケア情報サービス事業、人事組織開発の支援も行っています。

**CMO**  
Contract Manufacturing Organization

### 医薬品製造支援

製薬企業などから医薬品の製造を受託する事業です。2005年の改正薬事法の施行によって医薬品製造の全面外部委託が可能となり、本事業を開始しました。

**CRO**  
Contract Research Organization  
医薬品開発支援

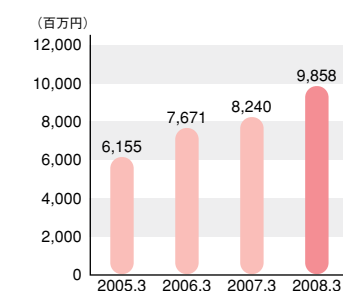
日本最大級のCRO・SMO企業グループとして、さらなる飛躍を目指します

当社グループの中核事業となるCRO（医薬品開発支援）事業は、1970年代に欧米で誕生した医薬品開発のアウトソーシングビジネスです。近年の医薬品業界は、政府による医療費抑制策などの影響を受け再編が加速しています。製薬企業は、10年以上の年月と膨大な費用を要する医薬品開発を効率化すべくCROへのアウトソーシングを活発化させており、CRO市場は今日まで着実に成長しています。

このような背景のもと、当中間期において、主力業務であるモニタリング業務は、前期課題であったモニターの人員増強が順調に進み、既存案件の着実な進捗および新規案件の開始に伴い売上が順調に増加しました。また、(株)応用医学研究所が担う前臨床業務において、新規受注の獲得により売上高が大幅に増加しました。その結果、CRO事業の売上高は9,858百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

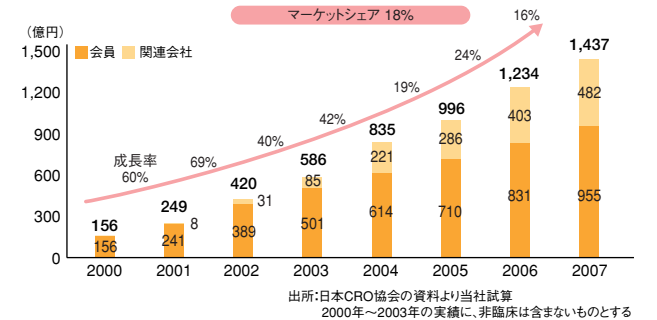
下半期においては、CRO事業のさらなる充実のため、臨床試験（治験）の効率化、生産性の向上を目指すとともに、医薬品開発のグローバル化の流れに対応できるよう引き続きグローバル展開を推進してい

● CRO事業売上高（中間）

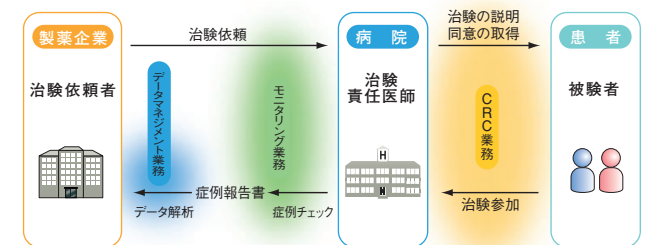


きます。また、医療機関側の治験に関わる業務を受託・代行するSMOのリーディングカンパニー、サイトサポート・インスティテュート(株)の株式交換による完全子会社化を実施したことによって、シミックCRC(株)と合わせ業界最大のSMO企業グループとなり、双方のブランド力と市場競争力がより一層強化され、相乗効果が期待できます。

● 日本のCRO市場（CSOは除く）



● 臨床試験（治験）の基本構図





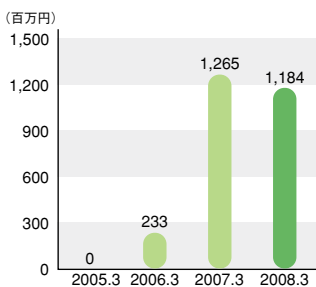
CRO事業に次ぐ主力事業となるべく、今後の成長に向けてのインフラ整備・強化に努めていきます

CMO (医薬品製造支援) 事業において、富山に工場を有するシミック・エスエス・CMO (株)と、韓国のCMIC CMO Korea Co.,Ltd.において、医療用医薬品および一般用医薬品などの製造受託を展開していますが、当中間期より米国に拠点をもち、治験薬製造を行うCMIC-VPS Corporationが新たにシミックグループに加わり、製造受託領域が拡大しました。

当中間期の売上高は、CMIC-VPS Corporationが新規に寄与しましたが、日本および韓国において既存受託品目の生産が計画を下回ったため、1,184百万円(前年同期比6.4%減)となりました。

このたび、CMIC-VPS Corporationにおいて、新たに市販薬の受託生産を開始しました。CMO事業のインフラ整備・強化を引き続き進めると同時に、新規受託先の拡大による売上の回復に努めます。

● CMO事業売上高(中間)



CMIC-VPS Corporation (米・ニュージャージー州)



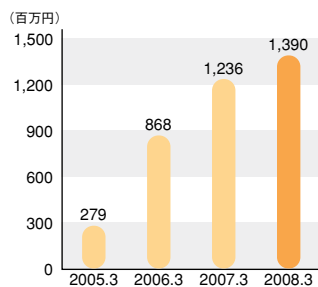
既存事業に加え、ヘルスケア分野においても新しいビジネスモデルの確立を目指していきます

CSO (医薬品営業支援) 事業においては、シミックグループ営業支援業務の集約を図り、医薬品営業支援のためのマーケティングコンサルティング事業とMR教育研修事業の相互連携を活かした事業拡大・強化を目指しています。

当中間期においては、(株)ヘルスクリックにおける新規案件が増加し、エムディエス(株)におけるマーケティング支援業務も順調に増加していることにより、CSO・その他事業の売上高は1,390百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

今後も、販促資材の企画・制作事業やヘルスケア情報サービス事業の拡大に努め、またMR派遣については他社差別化を図り、需要の拡大と利益率の向上に注力します。さらに、広く健康を支える新規ビジネスの創生にも挑戦していきます。

● CSO・その他事業売上高(中間)



いよいよメタボ健診スタート。気持ちもお腹も引き締めて!

2008年4月から、生活習慣病の原因となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を予防・改善するための特定健康診断、特定保健指導が始まりました。

最近太ってきたなあ、と気になるあなた。まずは自分でウエストを測ってみましょう。男性なら85cm以上、女性は90cm以上だったら、できるだけ早く生活習慣を改善されることをお勧めします。油断をしていたらいつ脳卒中や心筋梗塞などへの道を歩みださないとも限りません。

メタボリックシンドローム予防の10か条

- 適正体重を維持する
- 野菜や乳製品や豆類などをしっかり食べ、バランスのとれた食事を
- 規則正しく食事をし、朝食を抜いたり、寝る直前に夜食を食べたりしない
- 脂肪の摂り過ぎに気をつける
- 塩辛い味つけは避ける
- ジュースやお菓子など、糖分の多い食品を食べ過ぎない
- ウォーキングやジョギング、水泳など、毎日適度な運動を
- 睡眠、休養は十分に
- たばこは百害あって一利なし。思い切って禁煙を
- お酒はほどほどに。週に2回は休肝日をもうけて

healthクリックおすすめ「関節痛に効く簡単体操」

じっとしているだけでは関節は弱る一方。家でもできる簡単な体操で、関節痛を予防・解消しましょう。

- お風呂の中で、曲げ伸ばし
- イスに座って、足を伸ばす
- 仰向けに寝て、足を上げる
- 横向きに寝て、足を上げる
- 太ももで、ボールやまくらをはさむ
- ひざを内側にねじったり曲げたりしないようにしながら、ももでボールやまくらを押すように力を入れる



『healthクリック』は、健康一般情報及び疾患に関する情報を提供する、日本で最大級の健康ポータルサイトです(月間1,100万ページビュー、ユニークユーザー数140万人)。上記でご紹介したような健康・疾病情報が満載の『healthクリック』、ぜひご活用ください。またこのたび、healthクリックの3,000ページ以上のコンテンツが一部抜粋・編集され、ソフトバンク クリエイトィブ(株)より『その食べ方が死を招く』として出版されました。インターネットは苦手というかたは、ぜひこちらをご覧ください。

<http://www.health.ne.jp/>





出版本 → 「その食べ方が死を招く」




↑ webサイト「healthクリック」

## 2008年9月期 中間決算


売上高 **12,433**百万円   
 前年同期比 **15.7%**UP  
 主にCRO事業のモニタリング業務・前臨床業務が増加


営業利益 **1,318**百万円   
 前年同期比 **13.4%**UP  
 人員増強により原価率が若干上昇したものの、増収の効果で増益

中間純利益 **520**百万円   
 前年同期比 **26.2%**DOWN  
 前中間期に発生した子会社吸収合併による税金費用減少の影響により減益

## 2008年9月期 通期見通し

2008年5月9日、シミックは2008年9月期の通期業績予想を修正しました。  
 2008年4月より、サイトサポート・インスティテュート(株)の業績が加わります。

売上高(予想) **27,203**百万円   
 前期比 **25.8%**UP

営業利益(予想) **2,856**百万円   
 前期比 **32.3%**UP

当期純利益(予想) **1,375**百万円   
 前期比 **14.8%**UP

## ● 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円)

科 目	当中間期 2008年3月31日現在	前中間期 2007年3月31日現在	前 期 2007年9月30日現在
資産の部			
流動資産	11,282,089	10,595,285	10,946,430
固定資産			
有形固定資産	4,140,400	3,939,637	4,022,210
無形固定資産	999,122	763,576	742,693
投資その他の資産	1,787,397	1,712,790	1,609,591
固定資産	6,926,920	6,416,005	6,374,494
資産合計	18,209,009	17,011,290	17,320,925
負債の部			
流動負債	4,426,118	3,736,257	3,795,572
固定負債	2,440,632	2,744,068	2,558,729
負債合計	6,866,750	6,480,326	6,354,301
純資産の部			
株主資本	10,546,757	9,697,103	10,108,613
評価・換算差額等	△ 71,345	70,966	70,197
少数株主持分	866,847	762,893	787,812
純資産合計	11,342,259	10,530,963	10,966,623
負債・純資産合計	18,209,009	17,011,290	17,320,925

## ● 中間連結損益計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科 目	当中間期 2007年10月1日から 2008年3月31日まで	前中間期 2006年10月1日から 2007年3月31日まで	前 期 2006年10月1日から 2007年9月30日まで
売上高	12,433,579	10,741,940	21,616,777
売上原価	8,882,912	7,601,573	15,261,236
売上総利益	3,550,667	3,140,367	6,355,541
販売費及び一般管理費	2,232,440	1,977,971	4,195,962
営業利益	1,318,226	1,162,396	2,159,579
営業外収益	73,777	70,075	140,731
営業外費用	136,115	91,154	147,248
経常利益	1,255,889	1,141,318	2,153,062
特別利益	265	3,473	9,531
特別損失	993	34,612	111,730
税金等調整前 中間(当期)純利益	1,255,161	1,110,179	2,050,862
法人税・住民税 及び事業税	737,079	393,502	868,613
法人税等調整額	△ 73,549	△ 35,075	△ 84,266
少数株主利益	71,558	47,109	68,433
中間(当期)純利益	520,072	704,643	1,198,082

## ● 中間連結株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位: 千円)

当中間期 (2007年10月1日から 2008年3月31日まで)	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	少数 株主持分	
2007年9月30日 残高	3,087,750	3,332,990	3,687,873	10,108,613	70,197	70,197	787,812	10,966,623
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△ 81,928	△ 81,928	—	—	—	△ 81,928
中間純利益	—	—	520,072	520,072	—	—	—	520,072
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	△ 141,543	△ 141,543	79,034	△ 62,508
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	438,143	438,143	△ 141,543	△ 141,543	79,034	375,635
2008年3月31日 残高	3,087,750	3,332,990	4,126,017	10,546,757	△ 71,345	△ 71,345	866,847	11,342,259

● 中間貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	2008年3月31日現在	2007年3月31日現在	2007年9月30日現在
資産の部			
流動資産	6,889,728	7,132,864	6,867,671
固定資産	6,685,955	6,295,647	6,046,839
資産合計	13,575,684	13,428,512	12,914,511
負債の部			
流動負債	2,630,003	2,449,221	2,134,403
固定負債	1,678,686	2,081,221	1,861,096
負債合計	4,308,690	4,530,443	3,995,500
純資産の部			
株主資本	9,266,994	8,898,068	8,919,011
純資産合計	9,266,994	8,898,068	8,919,011
負債・純資産合計	13,575,684	13,428,512	12,914,511

● 中間損益計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	2007年10月1日から 2008年3月31日まで	2006年10月1日から 2007年3月31日まで	2006年10月1日から 2007年9月30日まで
売上高	6,720,138	5,572,932	11,418,932
売上原価	4,754,843	3,860,196	7,849,327
売上総利益	1,965,295	1,712,736	3,569,605
販売費及び一般管理費	1,267,878	1,139,748	2,405,127
営業利益	697,416	572,988	1,164,477
営業外収益	215,234	96,836	134,184
営業外費用	105,020	85,060	133,711
経常利益	807,630	584,763	1,164,951
特別利益	1,345	—	—
特別損失	74,507	41,661	300,035
税引前中間(当期)純利益	734,468	543,101	864,915
法人税、住民税及び事業税	382,142	146,647	389,323
法人税等調整額	△ 77,586	△ 35,143	△ 58,877
中間(当期)純利益	429,911	431,597	534,469

● 中間株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位: 千円)

当中間期 (2007年10月1日から 2008年3月31日まで)	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
2007年9月30日 残高	3,087,750	3,332,990	2,498,271	8,919,011	8,919,011
中間会計期間中の変動額					
剰余金の配当	—	—	△ 81,928	△ 81,928	△ 81,928
中間純利益	—	—	429,911	429,911	429,911
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
中間会計期間中の変動額合計	—	—	347,983	347,983	347,983
2008年3月31日 残高	3,087,750	3,332,990	2,846,254	9,266,994	9,266,994

会社概要 (2008年3月31日現在)

商 号 シミック株式会社  
 設 立 1985年  
 資 本 3,087,750千円  
 本 社 所 在 地 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル  
 従 業 員 数 2,052名 (連結)  
 事 業 所 北海道支社 東北支社 北陸支社  
 名古屋支社 大阪支社 中国支社  
 九州支社

グ ル ー プ 会 社 (株)シミックBS (株)シミックCP  
 (連結子会社) シミックCRC(株) サイトサポート・インスティテュート(株)  
 (株)シミックMPSS エムディエス(株)  
 (株)ヘルスクリック シミック・エスエス・CMO(株)  
 (株)応用医学研究所 CMIC-VPS Corporation  
 CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC Korea Co., Ltd.  
 CMIC (Beijing) Co., Ltd. CMIC Asia-Pacific, Pte. Ltd.  
 CMIC BRASIL PESQUISAS CLÍNICAS LTDA.  
 持分法適用会社 富士フイルム・シミック ヘルスケア(株)

株式の状況 (2008年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 .....2,300,000株
- 発行済株式総数 .....758,600株
- 株 主 数 .....4,460名
- 大 株 主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社アルテミス	318,410	41.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	69,710	9.1
中 村 和 男	62,100	8.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	34,780	4.5
野村信託銀行株式会社	23,507	3.0
資産管理サービス信託銀行株式会社	19,540	2.5
みずほキャピタル株式会社	14,920	1.9
シミック従業員持株会	13,400	1.7
中 村 圭 子	7,200	0.9
市 川 宏 司	6,000	0.7

(注) 1. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下2位を切り捨てております。  
 2. 上記株主の所有株式数のうち、信託業務にかかる株式数は次のとおりです。  
 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 69,710株  
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 34,780株  
 野村信託銀行株式会社 23,507株  
 資産管理サービス信託銀行株式会社 19,540株

役 員 (2008年3月31日現在)

代表取締役会長兼社長	中 村 和 男
代表取締役副社長	中 古 村 宣 雄
取締役副社長	市 庄 隆 史
取締役副社長	川 村 圭 子
取締役副社長	中 小 村 寛 涉
取締役副社長	望 若 月 正 雄
取締役副社長	石 原 丸 昭 護
取締役副社長	酒 井 俊 二
取締役副社長	種 井 宏 晃
取締役副社長	堀 井 宏 晃

● 所有者別の構成比率 (株式数比率)

